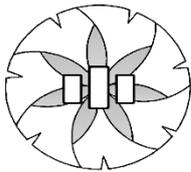


七小つうしん

学校通信 第9号
令和5年1月10日
東久留米市立第七小学校
校長 伊藤 幸一
Tel 042(471)0114

*学校ホームページ <http://www.higashikurume-school01.jp/~dai7-e/>



『教育目標』

- ◇ か し こ く
- ◇ や さ し く
- ◇ た く ま し く

今年こそは飛躍の年に！

校長 伊藤 幸一

新年おめでとうございます。昨年は4年ぶりの学芸会をはじめコロナ禍の中、様々なことを少しずつ取り戻せた1年であったように思います。公立学校として国や都、そして市のガイドラインを越えることはできませんが、学校として判断できる可能性に、諦めるのではなく最大限にチャレンジする1年にしていきたいと思えます。

小学校学習指導要領に示されている内容には、「各教科」の他に「特別の教科道徳」、「外国語活動」、「総合的な学習の時間」、「特別活動」があります。そして、特別活動の内容には(1)学級活動(2)児童会活動(3)クラブ活動(4)学校行事の4つがあります。学級活動には、学級会だけでなく係活動や給食・掃除・日直といった当番活動、学級集会活動があります。児童会活動には、代表委員会活動や委員会活動、異年齢集団による全校集会活動があります。クラブ活動には、クラブを楽しむ活動やクラブの成果の発表があります。学校行事には、入学式・卒業式・始業式・終業式などの儀式的行事、学芸会や展覧会などの文化的行事、運動会やセーフティ教室などの健康安全・体育的行事、遠足や移動教室などの遠足集団宿泊行事、大掃除や落ち葉拾いなどの勤労生産・奉仕的行事があります。学校から特別活動がなくなると学校は学校でなくなってしまう。新型コロナ感染症拡大防止のため、対策を取らなければならない中、一番影響を受けているのが特別活動だと思います。コロナだからできない、しょうがないと諦めてやめてしまうことは簡単なことですが、子供たちにとって失うものがあまりにも大きいと思います。

七小は今年度と来年度、校内研究の研究主題として「自分の思いを積極的に伝え合い、学校生活を楽しく豊かにする児童の育成」を設定し、全校を上げて特別活動の推進に取り組んでいます。また、日々の活動もリモートにすれば簡単ですが、あえてみんなが集まることにこだわり学校生活を送っていきたくと思っています。安心・安全はもちろん考えなければいけないことではありますが、withコロナの時代に、今何が大切かを考え判断していきます。

3学期の始業式には、毎年同じ話をしています。2学期の終業式で、全校児童に新年の目標を考えてくることを宿題に出していますが、話の中身はその続きの話、「『目標』を達成するための3つのポイント」についてです。1つめのポイントは、「スタートラインに立つこと」です。冬休みの宿題をちゃんとやってきて、先ほど聞いたときに手が挙げられた人は、もう1つめのポイントはクリアしていますと話しました。2つめのポイントは、「なぜそれがしたいのか、できるようになりたいのかを考えて、言えるようにしておくこと」です。3つめのポイントは、「どうしたらそれができるか、方法を3つ以上考えておくこと」です。もちろん、考えるだけで実行しなければ目標は達成できません。しかし不思議なことに、この3つができている人は実行することができ、目標も自ずと達成できるようです。

最後に、「39(サンキュウ)」の話をしました。今年1年は、1年生は、1年生として3か月、2年生として9か月過ごします。でも4月になったら突然2年生に変われるかといったらそんなに簡単なことではありません。「39」の「3」をしっかり過ごせた人には、「9」が中身の濃い充実した「9」になりますと話しました。

子供たちはキラキラと目を輝かせて話を聞いてくれました。この輝きをさらに増すことができるように、令和5年も七小教職員一同一丸となって教育活動の充実に取り組んでいきたいと思えますので、変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

≪1月の行事予定≫

月	火	水	木	金	土
9 成人の日	10 安全指導 始業式 4時間授業 交通安全指導 (始)	11 ◎ SC 給食開始 ユニセフ募金 計測(6) 走り方教室(5) あすなろ巡回・指導 (始)	12 ◎ ユニセフ募金 計測(5)	13 ◎ ユニセフ募金 委員会 計測(4)	14
16 全校朝会 計測(3) 交通安全指導 (終)	17 ☆ SC 計測(2)	18 ◎ 集金日 計測(1)	19 しらゆり集会 計測(しら)	20 ◎ クラブ	21 学校公開 4時間授業 給食なし 校内書写展(始)
23 全校朝会	24 ☆ SC	25 ◎ TGG外国語体験 (6)	26 児童集会 情報モラル教室6 5時間目(6) 6時間目(5)	27 ◎ クラブ	28
30 全校朝会 研究授業 4時間 3年1組は5時間	31 ☆ SC 委員会 校内書写展 (終)				

SC：スクールカウンセラー来校 ◎：朝学習 ☆：朝読書 ()：学年

※地震と火災を想定した、未周知の避難訓練があります。



○学校一斉公開日について

1月21日は土曜授業(給食なし)となり、8時30分から授業が始まります(土曜時程)。詳細については、後日配布する別紙をご覧ください。

○校内書写展について

1月21日から31日まで校内書写展があります。
保護者の方は1月21日(土)の学校公開の日に参観できます。
各クラスの前に書き初めが展示してありますのでご覧ください。



○インフルエンザ罹患の際の登校届について

今冬は新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行の可能性があることから、医療の逼迫を避けるため、医療機関の発行する治癒証明書を学校に提出して頂く必要はありません。インフルエンザに罹患した場合は治癒証明書に代わる保護者記入の「登校届」を学校までご提出ください。登校届は、学校から用紙でお渡し共に、ホームページからもダウンロードできます。

○新しい交通養護の着任について

中田 幸久さんの退職に際して、1月10日より、新しく宮一 勉(みやいち つとむ)さんが交通安全を見守ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

○4年1組の担任について

菅原 裕子教諭が1月17日から産休に入ります。担任は、隈 暁子副校長が務めます。

☆☆☆人権☆☆☆

「自分も友達も大切に」人権教育を教育活動全体で推進しています。特に、高学年では、人権を尊重する大切さを考え、自分の思いを表現する活動を行っています。6年生は作文に、5年生は標語に、4年生はポスターに表現し、東久留米市教育委員会主催の人権尊重推進月間作品に出展しました。次の6人が入賞し、12月の全校朝会で表彰されました。

標語	教育長賞	5年1組	高木 聖奈 さん
	努力賞	5年3組	小林 裕美 さん
作文	優秀賞	6年2組	石川 心菜 さん
	努力賞	6年1組	翁 茉理絵 さん
ポスター	優秀賞	4年1組	中根 杏 さん
	優秀賞	4年2組	篠原 優月 さん

その他にも、代表委員会による人権集会や心のふれあいポスト等、日頃から子供たちが人権について考え、理解し、自分も友達の大切に行動できるよう取り組んでいます。



☆☆☆6年生の様子☆☆☆

オリ・パラ学習 ～アテネパラリンピック 金メダリスト

高橋 勇市選手をお招きして～

12月8日(木)、アテネパラリンピックフルマラソンの金メダリストである高橋勇市選手をお招きし、「夢をあきらめないで」というテーマでお話をさせていただきました。高校生の時に目の病気になり、30代になって完全に視力を失いました。家族に心配をかけるほど心が沈んでいましたが、マラソントレーニングを始め、2004年アテネパラリンピックに出場し、見事金メダルを獲得しました。高橋さんのお話から、困難にぶつかっても夢をあきらめず希望をもって努力を続けることの大切さを学習しました。



また、2人組になり伴走体験を行いました。アイマスクをしている友達に対しての言葉がけが難しく、互いの信頼関係のうえ成り立つことが分かりました。最後にパラリンピック時の金メダルに触れさせていただき、子供たちも感激していました。貴重な体験ができた2時間でした。



☆☆☆5年生の様子☆☆☆

5年生は、1学期から2学期にかけて、米作りに取り組んできました。

米作りは塩水選（えんすいせん）から始まります。塩水選によって中身の詰まった丈夫な種籾を選び、土に蒔きました。米作りのプロである講師の先生に、米作りに必要な知識と最後まで愛情を込めて育てることの大切さを教えていただきました。

子供たちは、毎日のように、芽が出てこないか見守っていました。いつの間にか苗の背丈が伸び、5月下旬には田植えを行いました。講師の先生から苗の持ち方や植える時の姿勢などを教えてもらい、いざ、田んぼの中へ。泥に足をとられながらも、一つ一つ丁寧に植えていきました。講師の先生がやると、真っ直ぐに立つ苗も、子供たちが行くと、苗の先があちらこちらに向いてしまいます。実際に体験することを通して、一筋縄ではいかないことを学んだ子供たちでした。転ばないように、友達と支え合いながら、仲良く作業している姿が微笑ましかったです。

稲作では、収穫するまでに、水や肥料の管理、病気や害虫対策など、様々な仕事があります。学校の授業があるときはもちろん、夏休みも交代しながらゆっくりと育てていきました。どの子も自分たちの手で、少しずつ大きくなっていく稲の生長を楽しみにしていました。夏休みには、稲の花を見ることができ、とても嬉しかったという感想も聞かれました。

9月、いよいよ稲刈りをしました。思っていた以上に茎が太く硬かったので、鎌で刈り取るのが大変そうでした。多くの子が初めて鎌を使い、緊張していたようです。無事に刈り取れたときには「けがをしなくてよかったー」と、思わずほっとした声が漏れていました。

10月、足踏み脱穀機や千歯こき、唐箕を使って脱穀をしました。足踏み脱穀機は、千歯がついた筒を足で踏んで回すテンポが難しかったようです。どの子も真剣な表情で取り組んでいました。唐箕からは、勢いよく籾殻が吹き出し、「わー！ジェット機みたい」と歓声が上がっていました。いろいろな道具に触れ、昔の農作業には、手間暇がかかることを実感していました。

12月、乾燥した稲わらを用いて、正月飾りを作りました。「わらには、最後までこんな使い道があったんだ」「環境にも優しいし、こんなにきれいな物を作ることができるなんて知らなかった」と感嘆の声が上がっていました。どの子もすてきな正月飾りを作ることができ、満足そうでした。

子供たちは、実際の体験を通して、農業に携わる人々が、一つ一つの作業に愛情と工夫を重ねながら、米作りをしていることを実感することができました。また、正月飾りやしめ縄など、稲を大事に活用する日本古来の文化が、今日まで息付していることをこの体験学習を通して改めて学ぶことができました。



1月の生活目標

「寒さに負けず元気にすごそう」

寒さの厳しい季節となりました。インフルエンザやその他の感染症が流行しやすい時期です。

冬休み中、遅くまで起きていたり、朝のんびり起きていたりした日もあったかもしれませんが、今日から3学期の始まりです。まずは規則正しい生活を心がけ、外で元気に遊び、寒さに負けない元気な子供になってほしいと思います。引き続き学校では手洗い・うがい・マスク着用などを呼びかけていきます。ご家庭でもお声掛けをよろしくお願いたします。